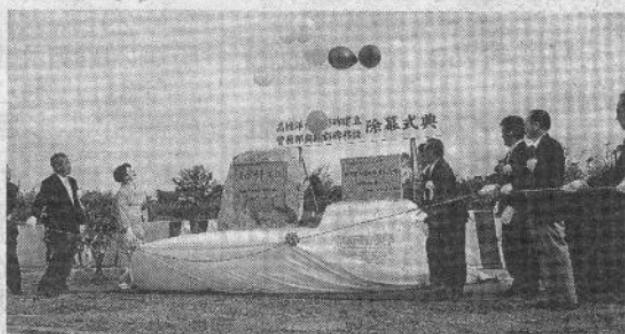


故高橋さん(元副知事)の碑石垣に
沖縄で式典かけはし交流に尽力



関係者によって除幕された高橋洋介さんらの顕彰碑=26日、沖縄県石垣市・真栄里公園(琉球新報社提供)

さんの顕彰碑も同じ場所に移設した。

沖縄かけはし交流会を設立し、民間での交流

顕彰碑建立、移設式典には本県と石垣の関係者約300人が出席。双方の交流を継続、発展させ、高橋さん、菅原さんとの功績を後世に語り継ぐことを誓った。

「水稻種もみ緊急増殖事業」は種もみ不足となつた本県オリジナル水稻品種「ゆめさんさ」と「かけはし」の2品種を、二期作ができる石垣島で増殖した。

高橋さんの妻、ひろ江さんは「交流20年の節目に顕彰碑が建立されたが、石垣島の農家の協力で成功した。

ソーンと北上マラソンの相互派遣、盛岡四高校・沖縄県立八重山高の姉妹校締結など、多くの交流を生んだ。

本県が1993年の大冷害で種もみ不足に陥つた際、沖縄県の石垣島から種もみを調達した「水稻種もみ緊急増殖事業」に本県農政部長として関わり、その後、沖縄、石垣との交流に尽力した元副知事の故高橋洋介さんの功績をたたえる顕彰碑

は26日、沖縄県石垣市の真栄里公園に建立された。当時、栽培指導に当たつて同事業を成功に導いた故菅原邦典高橋さんは、岩手・

沖縄かけはし交流会を設立し、民間での交流

をけん引。石垣島マラソンと北上マラソンの

交流が世代を超えて末永く交流できるこ

とを願つていて」とあいさつした。

江さんは「交流20年の節目に顕彰碑が建立さ

れた。高橋さんの妻、ひろ江さんは「交流20年の節目に顕彰碑が建立さ

れ、とても感慨深い。

永く続くことを願わずにはいられない」と語